

科目名[英文名]	ベンチャービジネス論A (New Venture Creation A) …Q 1 ベンチャービジネス論B (New Venture Creation B) …Q 2		
開講期 曜日・時限	Q 1 (4/10～6/ 5) Q 2 (6/12～7/31)	月曜日	6 限目(18:10～19:40)
コーディネーター	北川 章夫	E-mail: kitagawa@merl.jp	
担当講師陣	〔 氏 名 〕 赤坂 洋一 村上 芳道 五十川 員申 柳澤 大輔 高橋 直大 土井下 健治 高田 敬輔 南 政樹 山本 保 金山 義男 田中 正文 加藤 正晴 寺本 大輝	〔 所 属 〕 株式会社ブラディオロン医科学研究所 顧問 (元アプライドマテリアルズ米国本社上級副社長・日本法人代表取締役) ザインエレクトロニクス株式会社 執行役員経営企画部長 Cafe? IKAGAWA DO オーナー, 野々市市 市議会議員 面白法人カヤック 代表取締役 CEO AtCoder 株式会社 代表取締役社長 株式会社小松製作所 ICT ソリューション本部 ビジネスイノベーション推進部 マイニンググループ 主査 ワイズ福祉情報研究所 代表, 一般社団法人次世代センサ協議会 理事 慶應義塾大学 SFC 研究所ドローン社会共創コンソーシアム 事務局長 株式会社マイクロエミッション 代表取締役社長 NEC ソリューションイノベータ株式会社 地方創生事業推進グループ 統括マネージャー 株式会社テクノマセマティカル 代表取締役社長 三谷産業株式会社 人事本部 人事部 採用・研修課長 ハックフォープレイ株式会社 代表取締役社長	
キーワード	技術経営, グローバル化, 国際分業, ファブレス企業, オープンイノベーション, 地域経済, オープンデータ, 大学ベンチャー, 商品企画, 高付加価値		

◆授業の主題・目標

産業のグローバル化や国際分業が進行する中、地域に根ざした企業や専門知識を基盤とする企業が、どのようにして市場環境の変化に対応し、革新的で競争力のある製品やサービスを生み出しているのか、事例により学びます。また、日常のアイデア、専門知識、研究・開発成果から商品やサービスを考え、具体化するための方法について、グループ討論による疑似体験を通して学びます。本科目には、ベンチャー企業の創業者や事業のリーダーによる新しい産業の動向に関する講演が多数含まれています。自分も製品を生みだし、起業や事業化してみたいと思えるようになることも本科目の目標です。

◆ 授業の概要

1. 講義概要, 研究者のための簡単特許検索 (北川) ……ノート PC/タブレットを持ってきて, 研究・開発のための簡単特許検索を体験しよう。
2. ベンチャー経営とその環境 (赤坂) ……ベンチャーとは何か, ベンチャーのもつ意義, ベンチャーマインド, 米国シリコンバレーベンチャー企業の経営と環境, グローバル経済での企業競争力の源泉, 日本型ベンチャー環境のあり方, ベンチャー成功の要件, 企業人としての心構えを学ぶ。
3. グローバル化を利用した事業と戦略 (村上) ……企業を取り巻く市場環境を概観した上で, 半導体産業での

先駆的ベンチャーであるザインエレクトロニクスのビジネスモデルと事業戦略を解説。

4. **カフェから始めるイノベーション（仮）**（五十川）……cafe? IKAGAWA DO を始めた理由，選挙～地方自治の実際，技術者が関われるまちづくりの新しい形について紹介する。
5. **誰でもアイデアマンになる方法**（柳澤）……web 領域の最新技術を使って，今までにないサービスを作る方法を，面白法人カヤックの事例を基に解説する。
6. **趣味から始める起業**（高橋）……趣味を仕事するために起業したら，どんな事が起こったかについて。
7. **ダントツ商品からダントツソリューションへの挑戦**（土井下）……コマツでは，品質と信頼性をコンセプトに圧倒的な競争力をもつ商品の開発を行ってきた。しかし現在，その事業領域を，競争力のあるサービス提供，さらには顧客のビジネス課題解決提案へとシフトしようとしている。ICT を活用しながら，顧客の課題発見・解決案の提案に取り組むその事例を紹介する。
8. **商品開発とイノベーション**（高田）……[アクティブラーニング課題] 開発商品が事業化されるプロセスとイノベーションの事例について説明する。また，各自が発案した商品の企画書と仮想カタログを作成し，グループ討論により評価や改善を行う。
9. **新しい+面白い+役立つ=大学研究×ベンチャー起業**（南）……大学の本分は「研究と教育」である。学生を社会に羽ばたく「人材」として育成するだけではなく，研究成果を社会のシーズとして世に送り出さなければならない。大学の役割を振り返りつつ，成果からビジネスに成長した事例を紹介する。
10. **大学発のオリジナル技術を、北陸から世界へ**（山本）……創業までの経緯と，技術シーズの事業化の体験談を紹介。
11. **共創による社会ソリューション創出**（金山）……様々なステークホルダーと共創しながら，人々の生活スタイルを変革する NEC ソリューションイノベータ社の CSR 活動を紹介する。
12. **数学をビジネスに活用～HEVC8K/4K 画像技術の開発～**（田中）……数学的な手法を用いて，8K/4K 画像 SHV（スーパーハイビジョン）に於いて，高画質、高速、低消費電力を実現する。
13. **北陸から首都圏，そしてベトナムへの事業戦略～商社ビジネス×メーカー機能＝モノづくり～**（加藤）……北陸からスタートし，多数の分野へと事業展開している三谷産業の高付加価値サービスの創出について解説する。
14. **お金では説明のつかない、確かに人々を動かしている何か**（寺本）……苦勞してるのに楽しいときってありますよね。そんなとき，人々が，そして自分自身が，何によって動かされているのか。それを考える時間です。

[予習] 講義担当企業の事業分野や企業理念について調査してくる。

[復習] 講義のあった次週の講義開始までに，講義のまとめと感想をレポートとして提出すること。

[課題] 課題の指示があった場合は，指示に従って期限までに提出すること。

◇スケジュール（予定）

	期間	開講日	授 業 内 容	担当講師
(1)	Q 1	4 月 10 日(月)	講義概要，研究者のための簡単特許検索	北川 章夫
(2)	Q 1	4 月 17 日(月)	ベンチャー経営とその環境（1）	赤坂 洋一
(3)	Q 1	4 月 24 日(月)	ベンチャー経営とその環境（2）	赤坂 洋一
(4)	Q 1	5 月 08 日(月)	グローバル化を利用した事業と戦略	村上 芳道
(5)	Q 1	5 月 15 日(月)	カフェから始めるイノベーション	五十川 員申
(6)	Q 1	5 月 22 日(月)	誰でもアイデアマンになる方法	柳澤 大輔
(7)	Q 1	5 月 29 日(月)	趣味から始める起業	高橋 直大

(8)	Q 1	6月05日(月)	ダントツ商品からダントツソリューションへの挑戦	土井下 健治
(9)	Q 2	6月12日(月)	商品開発とイノベーション (1)	高田 敬輔
(10)	Q 2	6月19日(月)	商品開発とイノベーション (2)	高田 敬輔
(11)	Q 2	6月26日(月)	新しい+面白い+役立つ=大学研究×ベンチャー起業	南 政樹
(12)	Q 2	7月03日(月)	大学発のオリジナル技術を、北陸から世界へ	山本 保
(13)	Q 2	7月10日(月)	共創による社会ソリューション創出	金山 義男
(14)	Q 2	7月20日(木)	数学をビジネスに活用	田中 正文
(15)	Q 2	7月24日(月)	商社ビジネス×メーカー機能=モノづくり	加藤 正晴
(16)	Q 2	7月31日(月)	お金では説明のつかない、確かに人々を動かしている何か	寺本 大輝

◆成績評価の方法

課題レポート (40%) と感想文の提出 (60%) によって評価します。

◆テキスト・参考書・教材等

講義資料を講義開始時に配付。

[コース案内 URL] <http://www.se.kanazawa-u.ac.jp/sangaku/mot/>

[講義案内 URL] <http://jaco.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/edu/>

[USTREAM] <http://www.ustream.tv/channel/金沢大学 mot>

[講義室での質問] 講義後は時間がないので、講義時間中に質問をすること。

[メールでの質問] mot6@jaco.ec.t.kanazawa-u.ac.jp

[SNS での質問] <https://www.facebook.com/akio.kitagawa.77>

◆コーディネーターから受講生へのメッセージ

ユニークな事業を展開し、世の中の注目を集めているベンチャー企業や地元企業の講師陣が、それぞれの立場から我が国の産業の現状や将来像について述べ、受講者と議論します。また、商品企画実習や学生同士のグループ討論も行いますので、これから就職活動に取り組む学生にも役立つ内容です。